

令和2年度（2020年度）

第3回吹田市生活困窮者就労準備支援業務委託事業者選定審査会議事録

（概要）

- 1 日 時 令和3年2月15日（月）午前10時から午前11時10分まで
- 2 場 所 高層棟7階 会議室
- 3 出席委員 福祉部長、人権政策室長、福祉事務所長、地域経済振興室参事、
青少年室参事
- 4 内 容 吹田市生活困窮者就労準備支援業務委託事業者の選考
- 5 委員からの質問とそれに対する回答

A法人

質問	回答
提案書の実施計画にて、就労準備支援事業「吹田市モデル」の確立、ひきこもりに対する居場所づくりを念頭に置いた支援の継続、また社会への働きかけと書かれています。具体的にはどのようなものを考えておられますか。	救護施設でこれまで培ってきた日常生活自立支援・社会自立支援・就労自立支援のノウハウを利用することができます。また、救護施設を土台とした就労訓練のメニュー等、活用できるメニューを取り入れます。表現のワークショップでは色々な年齢や障害のある方が活用されており、幅広い豊富な活動を利用していきます。
支援の中で利用者の家族への支援も必要になることがあると思いますが、支援されたことはありますか。	利用者に必要なことはまず生活習慣を整えるトレーニングだと考えています。家族と同居している方もおり、家族への支援も必要と感じています。積極的に踏み込むことはしていませんが、担当ケースワーカーと連携する中で利用者の母と電話でお話させていただいたことはあります。必要があれば担当ケースワーカーや家族と相談しながら情報をお渡しし、訪問させてもらう活動もしており、動機づけにつながる声掛けを意識してい

	<p>ます。事業の利用開始は担当ケースワーカーからつなげてもらいますが、その後は通所継続を支援する中で必要であれば家族へのアプローチは行っていきます。</p>
<p>内職作業について、現在2か所の業者を利用しているということですが、協力してくれる業者の新規開拓はどうやっていくつもりですか。またどのようなものを考えていますか。</p>	<p>救護施設の内職作業を使いながら、作業への意欲や工賃をもらうことへの喜びを感じてもらっています。まずは通所してもらうことが第一段階であり、その先に就労があると考え、就労訓練や就労に向けてのステップアップだと面談を通して伝えるようにしています。また、今は千里寮での補佐的な作業をしてもらったり、外での作業で体を使ってもらったり、警備会社への就職につなげることができています。これまでの活動は清掃作業が多く、求人を取り寄せて面接依頼の電話を支援したりもしていましたが、新型コロナウイルスの影響により現在休止中です。今後は清掃や警備業でも他の施設や会社にアプローチ・営業をかけて受け入れ先を増やしていきたいと考えています。</p>
<p>平成29年からの就職者が16名との実績の記載がありますが、その後の分析等はしていますか。</p>	<p>就職後しばらくの間は定着できるよう見守りをしており、担当ケースワーカーと連携して情報共有しています。</p>
<p>以前から取り組んでもらっている模範モデルはまだ確立していないということですが、一定の成果と感じていること、また課題として残っていることを教えてください。</p>	<p>成果としては、実際に就職につながったということがあげられます。利用者はひきこもりの方が大半なので、2～3年かけて利用者がリラクセスして過ごせる雰囲気作りを行いました。利用者の心を開いた上で求められているものを汲み取ることができなければ一方的な支援となってしまうため、室内にテレビを置いたり、音楽をかけたり、健康を意識して利用者皆でおにぎりを作って、関係作りを重視しています。小学生の頃からひきこ</p>

	<p>もりだった方の例では、かけ算の勉強から支援を行い、最終的にレジでの就労ができた、という思いもよらない結果となりました。別の事例の方では、体重が 200kg 以上あったためまずは減量することを目標とし、体重を測定した時は電話で報告してもらって、一緒に喜びを共有しています。</p> <p>課題としては、就職者が増えて雰囲気盛り上がりつつありますが、就労が長く続くように支援していくことや、今後さらに、関係機関、業者とつながりを持っていくことが必要であると考えています。</p>
<p>今後予定している新しい挑戦やこれまでとは違う側面があるもの、一歩進んだもの等、考えておられることがあれば教えてください。</p>	<p>新しい企業へアプローチをかけ、開拓していきたいと考えています。千里寮の通所事業の中で動ける職員がいれば随時営業をかけることを予定しています。</p>
<p>様々な生活歴を持った方が利用しているので利用できるメニューを増やす必要があると思いますが、プログラムは固定ですか。</p>	<p>ある程度のプログラムを組んでいますが、変化はしています。利用者の年齢や生活歴が異なるので、これまでの経験でアプローチを変えたり、提案したりしています。</p>
<p>就職先・就職体験先を増やしていきたいということですが、具体的にはどのような分野等で考えておられますか。</p>	<p>警備会社との連携がとれてきています。就労支援の取り組みに理解のある会社のように、警備会社同士の横のつながりも利用させてもらって他の会社にも声をかけています。また、清掃業でも連携してもらえる会社を増やしていきたいと思っており、最近では京都のリネン関係の会社へアプローチしていきたいと考えています。この会社はチェーン店なので、難波や大阪市内、京都等広い地域で就職先が見つかると考えられ、新型コロナウイルスの影響が収まれば相談に行くことができると思っています。ほかにも昼間のホテルや飲食店で短時間の清掃を担っている会</p>

	社もあり、昼間であれば希望される利用者もいると思われるので是非アプローチできればと予定しています。
--	---

6 開催結果

委員の集計結果により、各委員の合計得点が高い社会福祉法人みなと寮を吹田市生活困窮者就労準備支援業務委託事業者プロポーザルの最優秀提案者として決定。